



きらやまで思い出キラキラ

10月7日、三方小学校6年生21人が、学校の裏の雲谷山くもだにやまで登山学習を行いました。雲谷山は花こう岩が風化し雲母うんもがきらきらと光るため、校歌には「きらやま」という名で登場します。

約20年前までは子どもたちの身近な遊び場だった「きらやま」にまた登りたいという、PTA会員や子どもたちの思いが実現しました。

子どもたちはまず、福井市自然史博物館の吉澤康暢館長から、雲谷山の地層や花こう岩などについての講義を受けました。次に4、5人ずつ土のう袋などに乗り、中腹にある雲母で滑りやすい岩肌（通称“巳のはげ”）を歓声を上げて滑り下りました。

青池愛華さんと千布七聖さんは、「みんなが親しんでいるきらやまに登れてよかった。初めての岩滑りはスピードが出て楽しかった」と、笑顔で話していました。

魅力ある梅づくりを！

10月22日、魅力ある梅づくりを目指し「若狭町梅振興ビジョン」が森下町長に提出されました。

これは今年4月に策定委員会を設立し、梅生産者、農楽舎出身の若手生産者、町の関係者、県の技術経営支援課などが、後継者不足や生産性の低下などの現状確認、課題整理、今後に向けた取り組みなどを協議しまとめたものです。

今回のビジョンには、収量の向上に向けて品種の維持や導入、栽培の効率化、消費や販売に向けての対策のほか、新しく後継者・人材育成として「人材育成基金」の創設を提案し、これまで受け継がれた梅栽培の歴史を今後につなげて行くための施策が盛り込まれました。

行政と生産者、研修機関、販売事業者などが共に同じ目標に向かって推進して行くことを確認し、町長は「梅の産地は町の大切な宝である。前向きに取り組んで行くので協力をお願いします」と話しました。



シカのふわふわハンバーグ

町では、子どもたちに若狭町の特産であるジビエに関心を持ってもらおうと、各学校やイベントなどでジビエ料理を味わってもらう機会を設けています。

10月10日は、わかば保育園の年長組14人がジビエ給食を味わいました。

給食の前に子どもたちは、町職員による紙芝居で、シカやイノシシの肉が食卓に並ぶまでの経緯について学習しました。

つなぎにおからを使ったシカ肉のハンバーグは、やわらかくて臭みもまったく感じず、子どもたちは一口ずつおいしそうにほおぼっていました。



俳句で世界とつながろう

10月8日、三方中学校で「俳句&HAIKU」と題した講演会が開かれました。

東京在住の宮下恵美子さんが講師を務め、一部では日本においての俳句の歴史や、世界には英語で俳句を作る人たちがたくさんいて、俳句を通じて世界とつながる楽しさを話しました。

二部では、生徒たちが事前に作っていた俳句の中から16首を選び、宮下さんが英語でHAIKUにし、それを、カナダ、アメリカ、ドイツのHAIKU協会の人に見てもらった感想をひとつひとつ紹介しました。

また、英語のHAIKUでは、季語を入れ、簡単な言葉で3行で作ることなどを手ほどきしました。

11月1,2日の町民文化祭では、俳句とHAIKUと、それを表した絵を描いて展示しました。

早く正確に、美しく

10月5日、三方消防署で、操法指導会が行われました。

三方地域の集落や事業所などから27チームが出場し、各部毎に

- ・操作員の動作・活発度・タイムが総合的に良好なチームに「見事で賞」
- ・タイムは遅くとも、動作や号令が沉着冷静で確実なチームに「冷静沉着で賞」
- ・各操作員の動作と号令が活発なチームに「ハッスル賞」

が準備され、各チームは応援団が見守る中、練習の成果を発揮していました。



《結果》

○地域消火栓操法の部

見事で賞：三方区、鳥浜区B

沉着冷静で賞：藤井区、高岸区

ハッスル賞：能登野区、南前川（親和会）

○事業所等消火栓操法の部

見事で賞：(株)ワカサマツバA、敦賀信用金庫三方支店

沉着冷静で賞：レイクヒルズ美方病院、(株)日本管財環境サービス

ハッスル賞：敦賀美方農業協同組合、(株)ワカサマツバC

○バケツリレー操法の部

見事で賞：敦賀信用金庫三方支店

沉着冷静で賞：(株)前田産業

ハッスル賞：佐古区

○特別表彰：10回出場 若狭町役場

20回出場 鳥浜区、三方区、気山区

鑑定団がやってきた!

10月19日、「出張!なんでも鑑定団 in 若狭町」のテレビ収録が、パレア若狭音楽ホールで行われました。

会場は、応募はがき数780枚の中から抽選で当選した観覧者で満席。司会者の松尾伴内さん、鑑定士の中島誠之助さん、安河内眞美さんがステージに登場すると、大きなどよめきと拍手が起きました。

鑑定依頼品数289点の中から、ステージで鑑定を受けた6組のうち、町内からは石田智也さん(熊川)、内藤茜奈、安奈さん姉妹(井ノ口)の2組3人。司会者の松尾さんと軽妙なやり取りをしながら、鑑定を受けました。

また、鑑定額が本人の予想額を超えると、森下町長が町内の特産品を持ってステージに現れ、鑑定依頼者にプレゼントする一幕もありました。

この収録の放送日は、びわ湖放送では12月2日(火)。FBC福井放送は、1月下旬から2月上旬の予定です。是非ご覧ください。



カエルの声が、いつまでも

10月25日、上中中学校の土曜授業では「若狭町の生物多様性の保全と活用」と題して、福井県海浜自然センター次長の松村俊幸さんの講演が行われました。

自分たちが住む上中地域から少し離れた三方地域の自然環境について理解を深め、大切に守る態度を育てようとして取り組んだもので、コウノトリのえっちゃん、ラムサール条約、三方五湖の生物や食物のことなどを学びました。

生徒会長の原田真尋さんは「これまでも生物や環境について勉強し、自分たちの出来ることを考えて行かなければと思っていましたが、今日の勉強を活かして、いつも聞こえるカエルの鳴き声が聞こえ続ける環境にしなければと改めて思いました」と話していました。



先輩と交流、担い手と交流

10月23日、かみなか農楽舎で就農活動「担い手交流」が開かれ、町内の農業者と農楽舎の社員、研修生など約20人が参加しました。これは、地域農業者と就農希望者が情報交換や交流を行い、後継者の発掘と農業の担い手を育成することを目的に開催されています。

農楽舎の卒業生による現場の話など、リアルな声を聞く時間もあり、研修生たちは真剣な表情で耳を傾けていました。

若い女性が農業に関心を持って学び、卒業後も携わっていきたいという熱意が感じられました。(四方由紀子)





高める意識、深める知識

10月26日に、三方会場(西田地区(梅の里小学校区))と上中会場(三宅地区)で若狭町防災訓練が実施されました。

地域の住民は、町からの音声告知放送や緊急速報メールの情報をもとに、近くの各集落センターに集まり、その後、避難所として開設された各小学校体育館へ避難を行いました。

また、三方会場では、自衛隊による緊急輸送訓練として、遊子区の住民が自衛隊車両に乗車し避難を行いました。

各会場では煙体験ハウスを体験した住民が体育館で受付を行った後、福井県や福井地方気象台の担当者による土砂災害に関する研修を受講し、知識を深めました。



歩き、味わい、歌いました!

10月26日、3歳から80歳代までの住民約260人が参加して、鳥羽地区ファミリーウォークが開催されました。

秋晴れの心地よい風の中、鳥羽公民館を出発。上黒田の弘法の滝までの往復5キロのコースを、それぞれのペースで景色を楽しみながら歩きました。会話をしつつ歩けば5kmの道のりはあっという間。弘法の滝に到着すると、参加者は滝からの涼しい風と涼しい木陰で疲れを癒していました。

ゴールした後は、鳥羽小学校で鳥羽フェスティバルが開催され、老人会の三世代交流餅つきでついた、できたてのお餅や、女性の会の具沢山の鍋汁がふるまわれました。

この日はファミリーウォーク20回記念と町政10周年を記念して、歌手の前田卓司さんのステージもあり、会場は多いに盛り上がりました。(Y.M)



その後、各会場で三方消防署・三方消防団、若狭消防署上中分署・上中消防団による訓練の見学、三角巾による救急訓練や簡易担架の作成、土のう作りの指導を受けました。

また、避難所設営資材の展示物や昨年の台風18号・福井豪雨のパネル展示、災害伝言ダイヤル体験ブース、原子力関連広報ブースも設置されており、興味深げに眺めたり、ブースの係員に話を聞いたりしていました。

最後に、日赤奉仕団による炊き出し訓練で作られたきな粉もちを美味しく試食していました。



地域のアートでチャリティー展

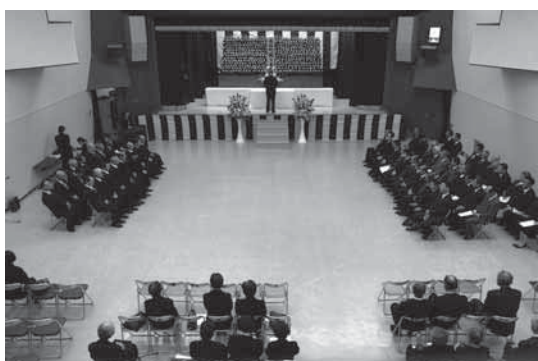


10月4日から19日にかけて、パレア若狭で「アートでハート展」が開かれました。毎年開催されているこの作品展は今年で22回目。嶺南地方にゆかりのある美術作家の作品を展示販売し、収益金は全額、赤い羽根共同募金に寄付されています。

今回は絵画、書、陶芸や造形など様々なジャンルの39人の作家が出展し、嶺南地方の名勝を描いたものなど、55点の作品が並びました。

初日にはオープニングセレモニーが開かれ、作家や関係者約40人が参加し、作品のスライド上映と作品解説が行われました。

アラカルト～こんな催しもありました！



| | |
|---|---|
| 1 | 2 |
| 3 | 4 |
| 5 | 6 |

- 1 女性の会バレーボール大会
- 2 みそみ保交通安全教室
- 3 子ども会卓球大会
- 4 荻野家倉見屋見学会
- 5 若狭町戦没者慰霊祭
- 6 国体設立総会・第1回総会

★住民リポーター随時募集中！お気軽にご連絡ください

NPOわかさ Reco.Tel: 050-3701-8341 Fax: 050-3730-7496 / Facebookページ:「わかさのススメ」

★住民リポーターさんの似顔絵: 岡本サキン

おとなの無料歯科健診

80歳で「自分の歯 20本」を目指しましょう！
虫歯や歯周病は身体の病気の原因となることがあります。いつも健康で、おいしく。
あなたの歯にも健康診断を！

- 対象者：18歳以上の方
- 受診方法：
 - ①健診を希望される歯科医院に「おとなの歯科健診の予約です」と予約してください。
 - ②歯医者さんで健康保険証・運転免許証などをお出してください。
- 実施期間：平成27年3月31日まで

健診の結果、歯の治療等が必要な場合は自己負担になります。受診できる歯科医院は福井県歯科医師会のホームページをご覧ください。健康課までお問い合わせください。

問い合わせ：http://www.fda.or.jp
健康課 TEL 0770-62-2721

案内

お願いします！農地の適正管理

若狭町農業委員会では、毎年1回、町内の農地パトロールを実施しています。今年も10月に実施したところ、適正に利用されている農地が多い中、耕作放棄地となった農地や、管理が不十分な農地が見受けられました。近年、「近隣の農地が荒れていて困る」という相談も多く受けています。

農地の所有者や借主のみなさまは、近隣に迷惑がかからないよう草刈りなど農地の適正管理を行っていただきますようお願いいたします。なお、農地の適正管理が行われていない場合、所有者等に対し農業委員会から指導を行う場合がありますので、ご理解・ご協力をお願いします。

問い合わせ：若狭町農業委員会事務局
TEL 0770-45-9102（産業課）

案内

休日レディース検診

2年に1回の検診を忘れていませんか？
土曜日に休日レディースがん検診を実施します！！

- 開催日：12月20日（土）
- 受付：13:00～13:45
- 場所：若狭健康福祉センター
（小浜市四谷町3-10）
- 内容：子宮頸がん検診（20歳以上）
乳がん検診（40歳以上）
※40歳以上の方は大腸がん検診も一緒に受けることができます。
（大腸がん検診は毎年受診できます）
※予約が必要です。
※各1000円の費用がかかります。

申込・問い合わせ：
福井県嶺南振興局若狭健康福祉センター
地域保健課 TEL 0770-52-1300
平日 8:30～17:15 開館（土・日・祝日休館）

案内

平日夜間のエイズ相談・検査のお知らせ

今、県内でもエイズ患者・HIV感染者が増加しています。HIV抗体検査を受けて、感染の有無を確認しましょう。

- 開催日時：12月2日（火）17:00～19:00
- 開催場所：二州健康福祉センター
- 内容：エイズに関する相談・HIV抗体検査（迅速検査）
- 費用：無料

※匿名で受けられます。
事前に電話で予約してください。



申込・問い合わせ：二州健康福祉センター
TEL 0770-22-3747

案内